

しんにちは つるおか

No. 97

黒川能の魅力は「祈り」ですよ

ば ば 子
馬場 あき子 さん



歌人。短歌結社「かりん」主宰。古典や能に対する造詣が深く、喜多流十五世宗家喜多実師に入門、新作能の創作にも取り組む。昭和47年に初めて黒川地区を訪れてから、ほぼ毎年黒川能の鑑賞に訪れている。日本芸術院会員。朝日歌壇選者。黒川能保存伝承研究会の講師として来鶴。東京都出身。

鶴岡は、情緒があって落ち着いた城下町という印象です。洗練された優美さがありますね。農村部に行けば、大きな田んぼに稲が勢い良く伸びていて、やっぱり米どころなんだなという印象もあります。そして何といっても人間が優しい。ここに来ると落ち着いた気持ちになれて、とても気分がいいです。

私は、主に短歌の選者として活動しています。朝日歌壇では、毎回約3,000首の投稿の中から10首を選びます。社会的な変動に対する生活者の敏感な反応がよく出ていて面白いですよ。また、自分で出している月刊誌『かりん』の選歌や、各地の選歌も担当しているので、年間で何万首も見ていることになりますね。その他、短歌や能、芸能の講演活動も



していますので、全国を飛び回るといっていいかもしれませんが、あちこちに行くと忙しく

講演会の様子（7月20日／櫛引公民館）

黒川能の魅力は「祈り」ですよ。東京の能は芸術ですが、黒川能は神事能。神にささげる能なんです。だから観客のことを気にしなくてもいい。そのところがいちずで、右顧左眄（うこさべん。周囲の状況ばかり気にかけて決断できないこと）していませんよ。人に見せる能ではなく、自分の心で舞っているところがいいですね。じゃあ見なくてもいいのかということではなく、だからこそ見たいんです。

私は今、地方がとても大事だと思っています。民俗芸能がなくなってしまえば、日本が潰れてしまいますよ。テレビでは、ふにゃふにゃした踊りや歌の番組が多いですね。それを見て楽しんでいるというよりも、ごまかされている感じがします。そんな現代の娯楽文化の中で、「よし、俺もじいちゃんの跡を継いで黒川能をやろう」なんていうことは、本当にすごいことですよね。そんなふうに、都会よりもむしろ地方がしっかりしていれば、日本の芽は残っていきますよ。

声 voice

市への意見や質問、広報を読んだ感想などをお寄せください。
◎送り先 本所総務課
☎25-2111内線316

Q 蜂の巣を駆除したい

自宅の軒下に大きな蜂の巣があり、刺されないか心配です。巣を駆除するためにはどこに依頼すればよいでしょうか。

A 専門の駆除業者に依頼してください

蜂の巣の駆除は、その土地の所有者または管理者の責任で行いますが、作業には危険を伴います。身の安全のためにも、専門の駆除業者への依頼をお勧めします。

該当の業種は「消毒業」です。職業別電話帳やインターネットで調べ、事前に見積りを取るなど内容を確認した上で駆除を依頼してください。費用は依頼者の負担です。

※市では、業者のあつせんは行っていませんのでご了承ください。

▼道路や公園など、市が管理する所で蜂の巣を見付けた場合

市の責任で駆除しますので、担

